

(1) 風邪をひかないようにセーターを着なさい。

★文の要素 「セーターを着なさい」(命令文) + 「風邪をひかないように」

★出題者が解答者に問いたいこと

・「～ように」=「～ために」と考える。

「～するために」は、"(in order) to ~"または"(so as) to ~"。「～しないために」なので、不定詞の否定表現は to の前に not で "in order not to ~"または"so as not to ~"。「～しないために」のときには、"not to ~"は使われない。

・「～ように」は、"so that ~"でも表現できる。その場合続く語は S+助動詞+V~。

・「風邪をひく」は、"catch a cold"。"have a cold"だと「風邪をひいている(状態)」なので、微妙に違う。

・「～を着る」という動作は"put on ~"。"wear"は状態で「～を身につけている」なのでここでは不適。「～を脱ぐ」の"take off ~"も覚えておこう。

★解答

→Put on a sweater in order not to catch a cold.

(別解) Put on a sweater so as not to catch a cold.

(別解) Put on a sweater so that you will not catch a cold.

↑「風邪を(これから先)ひかない」というニュアンス。

(2) 僕は若い頃、中国に行ったことがある。

★文の要素 「僕は中国に行ったことがある」+「僕が若い頃」(それぞれの節に主語を補おう)

★出題者が解答者に問いたいこと

・「過去の一点を表す表現があるとき、現在完了形を使うことができない！」

「～したことがある」という日本語に反応して「はい現在完了形～! have+過去分詞～」と反応してしまう人が多いですが、現在完了形は「今まで(に)」という、「過去のある時点から現在に至るまで」のことを全て含んだ表現だということ。つまり、"I have been to China when I was young."とすると、文の意味的には「僕は若い頃、今までに中国に行ったことがある」という、訳のわからん文章になってしまう。

★解答

→I went to China when I was young. シンプルに過去形を使ったのでよし。

(3) 私のクラスの3分の2は東京出身だ。

★文の要素 特になし。主語「私のクラス(メイト)の3分の2」。教室ではなくて、人間の話です。

★出題者が解答者に問いたいこと

・分数の表現

分数は一般的に「a+序数」「one-序数」で表す。たとえば、「1/3」なら"a third/one-third"。「2/3」は「1/3」が2こあると考えて"two-thirds"。序数を複数にすることを忘れずに。ちなみに「1/2」は"a half"、「1/4」は"a quarter"という。また、たとえば「103/345」みたいな分母が大きい数字の場合は、"103 over 345"というように"over"を使って表すことが多い。いちいち序数使うのがめんどいんでしょかね。

★解答

→Two-thirds of my classmates are from Tokyo. ※ハイフンは無くてもかまわない。

(4) この洗濯機を修理してもらうのに、いくらかかりましたか？

★文の要素 「いくらかかりましたか？」 + 「この洗濯機を修理してもらうために」

★出題者が解答者に問いたいこと

- ・値段の話なので「いくらですか？」の”How much ~?”。
- ・値段の話をするときの主語は”it”。「〇〇は（金額）です」という表現は”It cost(s) + (金額)”。cost は変化しない活用。
- ・「～してもらう」の表現は、”have + O + 過去分詞形”を使う。
- ・「～のに」 = 「～するために」と考えれば、”(in order) to ~”を使うことに気付ける。

★解答

→How much did it cost to have this washing machine repaired(fixed)?

(別解) How much did you pay to have this washing machine repaired(fixed)?

“it cost”の表現が思いつかなかった場合は「あなたはいくら払いましたか？」と考えて攻略しよう。

(5) 私の父はバスを運転している。今日は一日休みです。

★文の要素 後半「今日は一日休みです」→「彼は、今日一日の休みをとっています」（主語を補う）

★出題者が解答者に問いたいこと

- ・(2)に引き続きよくある「日本語を見て飛びついてしまう」パターン。こっちの方がわかりやすいかも。「～しているだから、はい現在進行形！」とならないようにしよう。現在進行形は「今まさに、その動作の最中である」という意味。この文では、父は仕事として「習慣的に運転している」のであって、今まさに運転しているかどうかは関係のない問題。つまり、普通の現在形で書くのが正解。
- ・「休む、休暇を取る」は”take(have) a day off”。have を使ったほうが、より「今休暇中である」というニュアンスが伝わりやすいかも。

★解答

→My father drives a bus. Today he has a day off.

(注意)「今日は一日休みです」を”he is a day off”とすると、「彼が休みをとっている」ではなくて、「彼は休みそのものです」という意味になってしまう。んなアホな。

(6) 一人でいることが好きな人もいる。

★文の要素 特になし

★出題者が解答者に問いたいこと

- ・主語の決定。「～な人もいる」 = 「何人かの人は～である」と考える。つまり主語は”Some people”。「何人かの人々は、好きです」という形に持っていく。この some に限らず、主語に数字を表す表現が入っている場合、日本語訳のパターンとして、「～する（人・物）が、〇〇（数字）います・あります」となることがあることを覚えておこう。
- ・「～すること」なので、”to+V 原形”か”~ing”で表す。「いる、ある」は be 動詞を使えばよし。

★解答

→Some people like being alone (to be alone).

(別解) There are some people who like being alone (to be alone).

「～がいる、ある」なので”there is/are ~”を使ってもよいが、無くても十分意味は伝わるし、「どんな人か」を表すために、関係詞を使わなければならないので、ミス元。

(7) この国では、スマートフォンを持っている人は少ない。

★文の要素 「スマートフォンを持っている人は少ない」 + 「この国では」

★出題者が解答者に問いたいこと

- ・主語の決定。(6)では、「～な人もいる」だったが、今回は逆の「～な人が少ない」。この場合は some ではなくて few または little を使う。“a”を伴わない few/little は「ほとんどない」という意味を持つ（否定文になる）。few は可算名詞に、little は不可算名詞に使う。つまり主語は“Few people”。
- ・「持っている」をまさか“be having”にする人は…いないよね?“own”なども使えます。

★解答

→Few people have cell phones in this country.

(注意) ×People who have cell phones are few in this country.

×The number of people who have cell phones is few in this country.

「〇〇が多いです/少ないです」と言うときに“〇〇 is many/much/few/little”と表現することはできない(これらの言葉は単独で補語にならないのが普通)。解答のように、数を必ず主語に含めて表現すること。

(8) だれもが一生の少なくとも3分の1を眠って過ごします。

★文の要素 特になし。

★出題者が解答者に問いたいこと

- ・文章はシンプルだが、どこから手をつけていいかわからない時は、まず主語と動詞を確定させる。今回の場合は、主語＝「誰もが」＝「みんなが」＝“Everyone”、動詞＝「過ごす」＝“spend”を使う。主語に every が入っているので、単数扱いであることに注意。
- ・分数の表現は前述(3)のとおり。
- ・“spend + (時間) + (in) ~ing”で「(時間)を～することに費す・過ごす」。(時間)のところに(対価)が入れば、時間以外のことも表現できる。
- ・手がつけにくい「一生」と言う表現。実はそのまま“life”でよい。
- ・「少なくとも」…に説明は、さすがにいらんよね？

★解答

→Everyone(Everybody) spends at least one-third of their life(lives) sleeping.

※life は単数形でも複数形でも可。life なら「一人一人の人生をそれぞれ見ていくと」、lives なら「みんなの人生を全体的に見ると」というニュアンス。

(別解) All of us spend at least one-third of their life sleeping.

※主語に every がない場合は、spend に s をつける必要なし。

(9) 私が知っている仕事の中で登山を必要とするのは、ツアーガイドだけです。

★文の要素 「仕事は、ツアーガイドです」

↑ (どんな仕事か)「私が知っている (仕事)」で、かつ「登山を必要とする (仕事)」

★出題者が解答者に問いたいこと

・文構造が非常に複雑です。主語と動詞を確定させ、そこに情報を肉付けしていくように。そうすれば、難しい中でも部分点を稼いだりするチャンスがある。難しいからと言ってすぐ飛ばす人は、ちーん。

→”The only job is a tour guide.”。「だけです」=「唯一の仕事は」と考える。

・その「唯一の仕事」が「どんな仕事か」の説明を付け加える。名詞「仕事」を修飾するので、関係詞か、to不定詞か、分詞か…。説明の内容を見ると「私が知っている」「登山を必要とする」という、ちょっと文章っぽい表現なので、ここは関係詞を使うのが一番作りやすい。

・まず「私が知っている唯一の仕事」を作る。

関係詞の基本的な形は「先行詞 (説明される語句)」+「関係詞」+「説明する語句」。

なので「唯一の仕事」+「関係詞」+「私が知っている」を作る。

→”[the only job] [that] [I know]”。先行詞に only が入っているので、関係詞は that が最適。

・次に「私が知っている唯一の仕事」+「関係詞」+「登山を必要とする」を作る。

→”[the only job that I know] [which] [requires mountain climbing]”。

これで、「私が知っている仕事の中で登山を必要とする仕事」という長い長い主語が完成する。あとは、これを最初に作った主語と動詞だけの文に組み込んで完成。

★解答

→The only job (that) I know which requires mountain climbing is a tour guide.

※関係詞が文の中で2つ使われるときは、1つ目 (ここでは that) が省略されるのが一般的。

(微妙) I know that a tour guide requires mountain climbing. I don't know if the other jobs requires mountain climbing.

※「もうどうしようもなくなって、でも何とかしないと…」という発想の元、無理やり「ツアーガイドが登山を必要とすることは知っているけど、他の仕事に登山が必要かどうかは知りません」としてみたパターン。満点はないかもしれないが、こんな文でも部分点は稼げることもある。とにかく発想を転換して書くことが大切。

(10) 今日、Facebook は便利なコミュニケーションの手段として多くの人々に定着しつつある。

★文の要素

「今日」 + 「Facebook は定着しつつある」 + 「多くの人に」 + 「便利なコミュニケーションの手段として」

★出題者が解答者に問いたいこと

- ・まず主語と動詞の決定。「Facebook は定着しつつある」。
- ・「定着しつつある」、つまり、「今まさにじわじわと定着の真っ最中である」という意味合いなので、現在進行形を使うのがよい。
- ・曲者なのが「定着する」。これがなかなか思いつかない。そういう場合は、日本語をまず自分が英語で表現できる形に変える作業が必要になる。例えば、「(Facebook が) 幅広く使われる」なら”be widely used.”、「(Facebook が) 一般的になる」なら”become common”などがいい。

※それすらも思いつかなかったら、主語から考え方を変えて、「多くの人(many people)が、Facebook を使っている(use)」とゴリ押しすることもできる。「多くの人」を「ますます多くの人」を表す”more and more ~”などにすれば、進行形を使わなくても「今定着の最中である」というニュアンスを表現することが可能。視点を変えて何度も問題の日本語を見つめ直そう

- ・「～として」は”as”一択。
- ・「手段」は、”way”や”means”を使う。”means”は複数形っぽいけど、単数扱い。「～の手段」とする場合は”a means (way) of ~”。

★解答

→ **Today Facebook is becoming (more and more) common as a useful way of communication.**

※common の前に比較級 more を置くと、進行形と相まって、より「しつつある」感が出る。

(別解) **Today Facebook is widely used as a useful means of communication.**

※common が思いつかなかった場合。Facebook が主語なので、受け身にするのを忘れずに。

(別解) **These days, more and more people use Facebook as a useful means of communication.**

※「多くの人を使う」と考える場合。more は「しつつある」感を出すためには必要でしょう。

(別解) **Today the number of people who consider Facebook as a convenient way of communication is increasing.**

※「Facebook を使う人の数が増えている」という考え方で書くこともできる。主語は the number、動詞は is increasing。

(別解) **Today more people are using Facebook to communicate (with each other) because it is so useful.**

※中学生でも頑張れば書けるバージョン。「より多くの人々がコミュニケーションのために facebook を使う。なぜなら便利だから。」と考えれば、こんな書き方もあり。